

長野運輸協、互作協交流会開催！



今年も長野運輸協・工作協交流会「ワカサギ釣り」が2月21日（土）野尻湖において開催されました。暖冬の影響でワカサギ釣りの中止（湖に氷が張らないため、釣りの場所に行けない）が相次ぐなか、ここ野尻湖は船で釣るため安全な場所です。

交流「ワカサギ釣り」も今年で4回目を数えますが、今まではどういうわけかなかなか釣果も上がらず、準備委員も今年にかけの意気込みは悲壮感漂う（でも楽しそうです）雰囲気の中で、行われました。

例年、家族・子供連れ等の参加でにぎわいますが、今年も家族連れ・カップル等の参加もあり、総勢16名の参加になり、早朝から元気だけはいっぱいでした。長野運輸協との交流を楽しみに、東京からも、東日本運輸協木立議長はじめ・東京運輸協からと3名が駆けつけました。早朝の船出ということで、前泊になる人は常宿が用意し、大漁の前祝を兼ねての交流会も行われ、職場の状況についても大いに語り合い交流を深め合いました。

船は貸切りとまではいきませんでした。我がグループ以外の参加では何と20代前半の女性3人グループの参加もあり、これにはびっくり。ニュースなどで宣伝していますが、初心者・子供・女性でも気軽に参加できることの証にもなりました。



当日は天気にも恵まれた！



当日は、天候にも恵まれ、湖畔の桟橋を7時30分予定通りの出航となり、船内は早くも仕掛けの準備などで大賑わいでした。

予定の場所に到着するや否や、各人すぐさま竿を出し、今年は成果を出すぞとの意気込みが感じられました。

その気持ちが受け入れられたか、今年は竿へのあたりがよく、釣果も何と100を越える人も出るなど、例年参加している人は大喜びでした。準備委員もほっと胸をなでおろす日となりました。

暇をもてあます時間もなく、あちらこちらで途切れることなくあたりが出て、船内は大きな声に包まれました。

準備側は、これだと大きな顔で参加を呼びかけられるとの思いに包まれました。

予定の15時までがんばり、竿を納め帰路に着きました。

皆さん、早朝から大変お疲れ様でした。また、持ちよく釣りを楽しめた裏には準備に携わっていただいた方々がいるためです。長野運輸協、工作協の皆さんご苦労様でした、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

